

アイリスLetter

保護者の皆様へ



2015年9月30日発行
第5号
広島女学院中学高等学校

10月を迎えます。8月の厳しい暑さから一転して朝夕は少し寒さを感じるような秋らしいさわやかな9月でした。中旬頃からは学校敷地の桜の葉先が例年よりも早く紅く色づき始めています。

さて、9月26日にはPTAから寄贈頂いたグランドピアノの「お披露目コンサート」が、設置場所であるアイリスセンター音楽室2の教室で行われました。真新しいピアノの側面にはPTAからの寄贈の文字が金色で記され、三川様(前PTA副会長)のご挨拶に続いて中3と高3の生徒5人により、ピアノ独奏と声楽独唱が披露されました。いずれもしっかりと準備された素晴らしい演奏で、教室いっぱいの約90人の生徒と保護者の皆様は、新しいピアノの豊かな響きを堪能し、最後は全員で讃美歌90番を歌って会を閉じました。今回の催しは小さな会ではありましたが、このような機会に学校の中で芸術に満たされた美しい空間が出現したことは素晴らしいことだと思い、大変嬉しく思いました。立派な楽器を寄贈してくださったPTAの皆様、素敵なお音楽を届けてくれた生徒たちに心から感謝したいと思います。

これまでもPTAからはバザーの収益金でゲーンズホールのスタインウェイピアノ、パイプオルガン等の楽器を整えて頂きましたが、他にも高校校舎屋上の施設一式、ウォータークーラー、食堂のカラフルな椅子とテーブル、中学校舎シューズロッカー、テントなど生徒たちの学校生活を豊かにし、また快適に過ごすための設備を寄贈頂いて参りましたことを感謝いたします。

これから2学期の行事が本格的に始まりますが、中3研修旅行・高2修学旅行・遠足、中間テスト、文化祭、キリスト教強調週間、期末テスト、讃美歌コンクール、クリスマス行事と続きます。それぞれの行事が安全に守られるようにと祈りつつ、行事を通して生徒たちが大きく成長する姿を期待しております。また保護者の皆様方にも多くのご協力をお願いすることになりますが、同時にPTAの皆様の相互の絆が深められる機会となりますことを願っております。

聖書の言葉 「ハレルヤ。新しい歌を主に向かって歌え。

太鼓や豎琴を奏でてほめ歌を歌え。」

詩編 149 篇 1・3 節



(校長)

生活指導部より

2学期が始まり、1ヶ月が過ぎました。今年は例年より早めに秋が訪れ、朝夕涼しいせいか風邪をひいている生徒や先生をよく見かけます。2学期はこれから大きな行事が続きます。睡眠をよくとって体調を整えましょう。連休もありますが、休日明けに調子が悪そうな人もけっこう見ますので、無理のない過ごし方をして生活リズムを保ってほしいと思います。特に部活を引退して時間にゆとりのできた人は、学習の取りかかりの時間を見直すなどして、新しいリズムを早く作るようにしましょう。スマホの時間が長くなっただけ、ということにならないように、また「読書の秋」ですから特に本に親しんでほしいですね。



10月には冬服更衣になります。リボンを忘れないように準備してください。また、成長に合わせてスカート丈の調整もお願いします。11月の文化祭では多くのお客様が来られます。校内靴の定期的な手入れも必要ですが、破れたりひどく傷んでいたりする靴はこうした機会に買い換えをお願いします。身だしなみを整えてお客様を迎えたいものです。

最近、教室移動や部活終了後の廊下の移動を見ていると、ぎりぎりまでおしゃべりをしていてチャイムを聞くと全力で走っていく、という姿を見かけます。危ないですし、授業の準備も後手後手に回ります。腕時計をして、自分の責任で時間管理をするように心がけてください。健康で充実した2学期になりますように。

(生活指導部主任)

8・6 平和祈念式・平和記念礼拝

広島女学院では、生徒・教職員350余名が原爆の犠牲となられ、その体験が本校の平和教育の原点となっています。

8月6日午前10時より、中学校地東側の原爆慰霊碑の前でご遺族の方をお迎えしての平和祈念式があり、生徒代表K・Tさん(3年3組)による追悼のことば、合唱部による讃美歌、中学YWCA部のハンドベル演奏などが捧げられました。

午後1時30分からは、ゲーンズホールで、中1、中3、高2の生徒が出席し、被爆70周年ということで多くの来訪者の方々も共に、卒業生の山田玲子さん(日本被団協中央相談所委員長、東京都原爆被害者の会副会長)をお迎えして平和記念礼拝をまもりました。

山田さんは己斐国民学校4年生の時、3日後の集団疎開の説明を受けるため8時に校庭に集合していて被爆。ご自身は大きなけがはありませんでしたが、お父さんと一番上のお姉さんは大やけどを負って帰宅。自宅は半壊状態で親戚の家に避難。母と自宅へ物を取りに戻る途中、道の両脇に重なり合っただ倒れていた人たちが数日後、きれいに片づけられ、学校の校庭で誰ともわからないまま焼かれていたことを知りました。いつも遊んでいた近所の友だちやその家族の死、校庭で育てたお芋の間から出てきたたくさん骨、戦争が終わりホッとした顔の大人たちなど、子どもの視点から見た原爆と戦争をリアルに伝えて下さいました。原爆の恐ろしさは、大量無差別、その後も続く放射能の影響。結婚を反対された人、子どもを産めなかった人、東京に出てきて一人で就職し、周囲の誰にも言えずに生きてきた人……。思想・信条・宗教、全てを越えて、一人の被爆者として、あのようなことが決して世界の誰の上にも起こらないように核兵器廃絶を訴え続けたいと語られました。



(宗教教育委員会)

中2チャレンジキャンプ

7月22日から2泊3日の中2チャレンジキャンプを行いました。初日から雨が降り、生徒はもちろんのこと教員もどうなる事かと不安もありましたが現地スタッフの方々をはじめ高校生リーダーや中2自身が精一杯の知恵と工夫で乗りきってくれました。

ゲーンホールでの出発式を終えバスで現地に向かうと、徐々に雨が上がり、予定していた三分の二の距離を無事に歩くことができました。天候の影響により、途中からバスに乗る事になりました

が、「せっかく頑張ってきたから最後まで自分の足で歩きたかった」という中2の声を聞くと、普段学校では見られないたくましさを感じました。その後も雨は降り続き、飯盒炊さんやテント泊が大変困難なものとなりましたが、高校生リーダーを中心になんとか持ちこたえ2日目を迎えました。天候はあまり回復しませんでした。広島最高峰である恐羅漢山の山頂を目指しましたが、一步一步支え合い励まし合いながら確実に進み目標である山頂にたどり着くことができました。下山後の中2の表情からも達成感が伺え、また一つ自信に繋がったようでした。

3日目はようやく天候が回復し、昨年は通れなかった三段滝も見ることができ、充実したプログラムになりました。

非日常を体験し帰校後の生徒達は、日頃の何気ない生活が家族に支えられていることへの感謝や自然の厳しさや美しさなど、3日間で多くのことを体得したようです。それらの学びを糧に、中2後半の学校生活をさらに充実したものになるよう過ごしてもらいたいと願っています。最後に、このプログラムを支えてくれた高校生リーダーの自主性や積極性に、中2生徒が大きく成長させてもらえた事に感謝しています。



(中2学年主任)

東大・京大オープンキャンパスツアー

8月5日からの3日間、高1・高2の生徒10名が、東大と京大のオープンキャンパスに行ってきました。昨年までは東大のみの2日間のツアーでしたが、今年初めて京都大学を加え、3日間で実施しました。

初日は昼過ぎに東大に着き、それぞれ進学したい学部の説明会や特別に公開されている最先端の研究施設を見学したり、本校の卒業生で大学院在学中の先輩に、所属する研究室を案内していただいたりしました。夜はホテルで、東大に進学した本校卒業生との座談会を開催し、勉強の取り組み方や高校時代の過ごし方を聞きました。

2日目は夕方まで東大で過ごした後、新幹線で京都へ向かい、夜には前の晩と同様、京大に進学した本校卒業生から大学の様子や受験勉強についてお話を伺いました。

3日目は朝から京都大学へ行き、学部説明会や付属博物館、パフェの美味しい学食などを満喫した後、本校卒業生で京都大学の准教授を務める内田さんの研究室にお邪魔して、大学の様子、女学院時代のクラブ活動や進路を決定した時のことなど一人一人の質問に丁寧にこたえていただきました。

連日36度を超える猛暑の中、生徒たちは精力的にイベントに参加し、あこがれのキャンパスで大学生気分を味わっていました。出会った大学生や先輩たちはみな高い目標を持って充実した研究生活を送っており、最難関の大学に行く人の生き様に触れ、進学への思いをあらたにした有意義な3日間でした。

(進路指導部)

勉強合宿について

8月3日から5日まで、尾道のふれあいの里で2泊3日の勉強合宿を行いました。この合宿は、高校1年生から3年生の希望者が、自ら勉強計画を立て、3日間で24時間の自学自習を行うというものです。自らと闘いながら、集中力・モチベーションを維持して自習していたので、実り多い合宿となりました。

(進路指導部)

夏期海外生活体験学習

7月25日から8月10日まで、中3生徒22名は、オーストラリア・メルボルン郊外のキルビントンスクール（幼・小・中・高併設校）でのホームステイ研修に参加しました。

毎日の英会話の授業に加えて、キルビントンでは日本語や音楽、演劇などの授業にも参加してもらい、グループワークをしながら現地の学生と交流をしました。キルビントンでは生徒全員が自分のiPadを1台ずつ持っており、授業中の調べ物や発表の際に利用していることにも驚きました。女学院生も、最初は文化の違いや英語づくりの環境に戸惑うこともありましたが、どんどん積極的に発言や質問ができるようになりました。

8月6日には”Peace Day”として、広島・平和に関するプレゼンテーションを行いました。日本で準備した資料をもとに、原爆や女学院での平和活動、東日本大震災について英語で説明をしました。キルビントンの生徒の皆さんもとても熱心に発表を聞いてくれました。その後は、共に折り鶴を折り、平和について考える静かなひと時を持ちました。2週間という短い間でしたが、英語だけでなく、積極的に行動することの大切さ、文化の異なる人とのコミュニケーションの取り方など、全員が多くを学んだ17日間となりました。



(グローバル教育推進部) 4

2015年度 S G H研究発表会

8月22日に今年度第1回の研究発表会を実施しました。今回の外部参加者は40人程度と昨年よりずいぶん少なかったのですが、北海道から福岡まで全国各地からの参加がありました。午前中は本校S G H指導委員の濱名篤先生（関西国際大学学長）に昨今の高等教育の動向をお話頂き、更にこれから変わってくるであろう評価方法についても詳しく教えて頂きました。中教審のメンバーでもあり、ホットな情報を様々な側面からお話頂いて、参加者からは大変勉強になったとの声が相次ぎました。

午後は5つの分科会を準備し、昨年度の本校の取り組みを中心に発表しました。第1分科会ではC I F、マウントユニオン大学短期研修、トビタテ留学、ディベート、第2分科会は本校P Sと海外研修（カンボジア、韓国）について、第3分科会は碑めぐり案内、署名活動、ヒロシマアーカイブについて、第4分科会は高1のGlobal Issues、T O E F L講座、中1の新設英語クラス、第5分科会は模擬国連形式のワークショップでした。第1～第4分科会では生徒の発表を中心に、教員の指導過程等も発表しました。特に生徒の発表については参加者から大好評で、夏休み返上で準備にあたってくれた生徒たちには感謝し、これからもP Sを牽引する存在であってほしいと願っています。

(グローバル教育推進部)

保健室だより (5)

2学期が始まり1カ月経過しました。

今年の夏、熱中症で保健室を利用した人は、21名でした。そのうち高校生は、5名で、中学生の方が多かったようです。受診する人は、いなかったのが幸いです。

保健室利用者の状況を観察してみると、睡眠不足や疲労がたまっているものの、がんばる背景がうかがわれました。やはり自分でおかしいと感じたら、勇気をもって休

むということは大切であると感じる今日この頃です。

秋の夜長は素敵ですが、行事の多い2学期、体内時計を整えるためにも、朝光を浴びる、夜携帯などの光を浴びない、疲れを感じたらシャワーよりもお風呂につかって、早めに寝るなどの工夫が必要でしょう。

(保健室)

心の健康 (5)

夏の暑さからくる疲れが尾を引いて、9月は「やる気が出ない」などの訴えをよく聞きました。その9月も去って、今から10月。実りの秋です。心にも実りをもたらす時です。このいい時期に家族で落ち着いた家庭生活を楽しむことはとても大切です。

たとえば、「笑い」を生活の中で意識するのはいかがでしょうか。「笑い」はストレス



ホルモンの分泌を減らし、血圧や血糖値を下げ、免疫機能を高めます。落語や漫才、コメディ映画など自分の好きな

もので大笑いすると、ゆったりと落ち着いた気分になるでしょう。

(カウンセラー)

AED講習会

8月26日、消防署および消防団の方をお招きし、教職員22名が参加してAED講習会を行いました。胸骨圧迫とAED操作を繰り返して行う方法を習いました。現在、人工呼吸をためらう場合は省略可能で、とにかく「強く・速く・絶え間ない」胸骨圧迫が大事だそうです。「本で習うこととやってみることは全く違う」という感想が多く聞かれ、有意義な時間でした。この講習会は毎年行う予定です。



(保健室)

生徒の活躍

《中学》

◇中学卓球部

*第63回広島市中学校総合体育大会
(中・南区大会)

団体 : A・Bチーム共に1位

個人 : 11名が市大会に進出。

*第63回広島市中学校総合体育大会
(市大会)

団体 : ベスト8

◇中学新体操部

*第36回中国中学校新体操選手権大会

団体 : 4位

*第63回広島市中学校総合体育大会

団体 : Aチーム 優勝 ⇒ 県総体へ
Bチーム 3位

*第64回広島県中学校総合体育大会

団体 : Aチーム 優勝

◇中学ソフトテニス部

*第63回広島市中学校総合体育大会
(安芸・中ブロック大会)

団体 : 3位

個人 : 1位 O・N (3-2)

M・R (3-5) 組

3位 M・K (3-3)

I・A (3-1) 組

*GOSEN杯 平成27年度広島市ソフトテニス
連盟夏季中学生練成ソフトテニス大会
3年生以下の部

個人 : 3位 O・N (3-2)

M・R (3-5) 組

*第38回広島市スポーツ少年団大会

団体2部 : 女学院B 3位

◇中学放送部

*第32回NHK杯全国中学校放送コンテスト
ラジオ番組部 優良賞

作品名:「かわいい」ってヤバくない!?

◇中学合唱部

*第54回広島県合唱コンクール 銀賞

*第54回中国合唱コンクール 銀賞

*第82回NHK全国学校音楽コンクール広島県大会
中学校の部 銀賞

◇個人の活躍

*第63回広島市中学校総合体育大会

水泳競技の部

T・M(3-5)

200m個人メドレー 1位

400m個人メドレー 1位

N・R(2-5)

200m個人メドレー 5位

*広島県中学校水泳競技選手権大会

T・M(3-5)

200m個人メドレー 4位

400m個人メドレー 3位

⇒中国大会出場権獲得

*中国中学校水泳競技選手権大会

T・M(3-5)

400m個人メドレー 7位

*第64回広島県中学校総合体育大会

水泳競技の部

T・M(3-5)

200m個人メドレー 6位

400m個人メドレー 3位

*広島市中学校新人水泳競技大会

N・R(2-5)

50m背泳ぎ 4位

200m個人メドレー 5位

*第63回広島市総合体育大会

陸上競技の部

R・S(2-1)

高学年女子 200m 7位

⇒県総体出場

*第39回ヒ・テイ・ピアノコンペティション

全国大会決勝

N・Y(3-3)

E級:ベスト12賞

連弾上級:金賞

《高校》

◇高校バスケットボール部

*広島県高等学校秋季バスケットボール大会

2回戦 女学院 86-55 安西

3回戦 女学院 58-65 市立呉

◇高校新体操部

*広島地区高等学校新体操秋季大会

個人:一部総合

O・S(1-A) 4位

M・M(2-B) 5位

U・M(1-D) 6位

個人:二部クラブ

I・H(1-D) 3位

◇高校水泳部

*広島県高等学校新人水泳競技大会

S・N(1-B)

100m平泳ぎ 8位

200m平泳ぎ 8位

◇高校音楽部

*第82回NHK学校音楽コンクール

銀賞

*第54回合唱コンクール

銅賞

◇個人の活躍

*同志社大学 高校生「志」コンテスト in 広島

優秀賞 A・Y(3-A)

D・A(3-A)

*平成27年「勤労青少年の日」記念事業

「若者を考えるつどい2015」

『働くってなんだろう』エッセイ

努力賞 T・Y(2-B)

*第32回中国ユース音楽コンクール

ピアノ部門

奨励賞 K・M(3-A)

*第39回ヒ・テイ・ピアノコンペティション

中国・四国E級

K・A(1-C) 地区本選進出

《中高》

◇中高マンドリン部

*平成27年度全国高等学校

ギター・マンドリン音楽コンクール

優秀賞

◇中高吹奏楽部

*第56回広島県吹奏楽コンクール

銀賞

今月の聖句

イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに來させなさい。妨げはならない。神の国はこのような者たちのものである。」

(マルコによる福音書 10章13～14節)

人々は何のために子どもたちをイエス様のもとに連れてきたのでしょうか？「イエスに触れていただくため」とありますが、聖書の中でイエスが触れるのは、体や心の病気などで悩んでいる人を癒すためです。つまりこの子どもたちも何か癒していたかなくてならないことがあったのではないかと。子どもだっているいろいろなことがあります。幸いなことに、この子たちの周りには、そのことに気づいてくれる大人がいました。なんとか元気にしてあげたいと思った人たちが、「こんな所へ子どもを連れてきて」と思われてもイエス様のもとに連れてきたのです。「神の国はこのような者たちのものである」というイエス様の言葉は子どもたちだけでなく、子どもたちを連れてきた人たちのことも含まれていたのではないのでしょうか。助けを必要としている人に気づいて、心にかけて、なんとかしてあげたいと思って、行動する。そのような人たちが「神の国」をつくるのだとイエス様は言っておられるのではないのでしょうか。

(聖書科T. M)



10月行事予定

		10月
1	木	創立記念日 冬服更衣
2	金	
3	土	45分授業 1限 8:40～ 創立記念礼拝 保護者対象入試説明会
4	日	高3模試(河合マーク) 高1駿台全国模試(希望者)
5	月	
6	火	高2修学旅行 7限 高1PTS(選択科目)
7	水	中3研修旅行
8	木	渋谷学園渋谷高校来校
9	金	中1バイブルデイキャンプ 中2・高1・3遠足
10	土	高3模試(ベネッセ駿台記述) 英語検定
11	日	
12	月	体育の日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	7限 高2PTS(選択科目)
17	土	4限 中3PTS(選択科目) 保護者対象入試説明会
18	日	
19	月	
20	火	中間テスト(高1・2・3) 水曜授業 1限 8:55～
21	水	(中1・2・3) 1限 8:55～ 15分休憩
22	木	1限 8:55～ 15分休憩
23	金	1限 8:55～ 15分休憩
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	45分授業 6限まで 放課後 文化祭準備
31	土	文化祭準備日